

希少糖アルロース「ASTRAEA®」に関する 研究解説が専門誌『食品と開発』に掲載

～GLP-1 分泌促進や食欲調節、血糖コントロールに関する研究知見を紹介～

でん粉加工と機能性食品素材の総合メーカー松谷化学工業株式会社(本社:兵庫県伊丹市 代表取締役社長:阪本紗代)は、当社研究第一部 山田貴子による寄稿論文が、食品分野の専門誌『食品と開発』(2026年3月号)に掲載されたことをお知らせいたします。

本稿では、希少糖アルロース「ASTRAEA®」に関する研究成果を整理し、腸管ホルモン GLP-1 の分泌促進作用を介した食欲調節、血糖値上昇抑制、抗肥満作用などについて、これまでの研究知見を解説しています。

主な内容

世界的に肥満や過体重は深刻な健康課題となっており、日本でもメタボリックシンドロームや糖代謝異常など生活習慣病との関連から、食欲調節やエネルギー代謝を制御する食品成分への関心が高まっています。

アルロースは、砂糖の約70%の甘味を有しながら体内でほとんどエネルギーとして利用されないゼロカロリーの希少糖であり、近年では、食後血糖値の上昇抑制・脂肪燃焼促進・体脂肪低減などの生理機能に関する研究が進められています。

今回の寄稿では、アルロースが腸管ホルモン GLP-1 (グルカゴン様ペプチド-1)の分泌を促進する可能性に着目しています。GLP-1 は満腹感の形成やインスリン分泌促進に関与するホルモンであり、肥満や糖尿病の研究分野で注目されています。研究では、アルロースがカロリーを持たない成分でありながら GLP-1 分泌を促す「GLP-1 リリナー」として作用する可能性が示されており、動物試験において摂食量(食欲)の抑制・血糖値上昇の抑制・体重増加の抑制といった作用が確認されています。さらに継続摂取に関する研究では、食事タイミングと代謝の関係を研究する時間栄養学の観点から、食事リズムの改善や過食抑制に関与する可能性も示唆されています。

これらの作用は、腸管から分泌された GLP-1 が迷走神経を介して脳へ情報を伝達する腸—脳相関(Gut-Brain Axis)の活性化を通じて、食欲やエネルギー代謝の調節に関与する可能性があると考えられています。

今後の展望

松谷化学工業株式会社では、希少糖アルロースと GLP-1 を中心とした食欲調節・糖代謝研究を継続し、科学的エビデンスの蓄積を通じて健康志向食品分野への応用を進めてまいります。

掲載情報

山田貴子

「希少糖アルロース『ASTRAEA®』の腸管ホルモン GLP-1 促進を介した過食予防・耐糖能改善・抗肥満作用」
『食品と開発』Vol.61 No.3(2026年3月号)

※本資料は上記論文内容をもとに当社が要約したものです。

松谷化学工業株式会社(<http://www.matsutani.co.jp>)について:

松谷化学工業株式会社(本社:兵庫県伊丹市北伊丹5丁目3番地 代表取締役社長:阪本紗代)は、でん粉加工と機能性食品素材の総合メーカーとして、加工でん粉や難消化性デキストリンをはじめとする食物繊維等の製造・販売、希少糖および関連製品の研究開発、製造・販売を行っています。当社は、でん粉加工のパイオニアとして、新しい機能を有するでん粉やその分解物など食品製造に不可欠な機能性の高い素材を多岐にわたり研究開発を行ない、お客様のニーズにお応えする「手軽で」「美味しい」「体に良い」加工食品を創造するための機能と、「安全」「安心」「安定」した品質を持つ食品素材「食用でん粉」「加工でん粉」「澱粉分解物」を提供します。

<報道機関からのお問い合わせ先>

松谷化学工業株式会社 社長戦略室

TEL : 072-771-2018 FAX : 072-771-2065 MAIL : matsutani-pr@matsutani.co.jp